

記載例

様式第 42 号 (第 62 条の 5 の 2 関係)

休止中の地下貯蔵タンク又は二重殻タンクの漏れの点検期間延長申請書

桐生市長 〇〇 〇〇 殿		〇〇年 〇〇月 〇〇日	
申請者			
住所		(電話)	
氏名			
設置者	住所	桐生市〇〇町1丁目1番地の1 電話XX-XXXX	
	氏名	(株)〇〇 代表取締役 △△	
設置場所	桐生市△△町2丁目2番地の2		
製造所等の別	取扱所	貯蔵所又は取扱所の区分	給油取扱所
設置の許可年月日及び許可番号	〇〇年〇〇月〇〇日		第〇〇・〇〇〇号
設置の完成検査年月日及び検査番号	〇〇年〇〇月〇〇日		第△△・△△△号
タンクの種類	鋼製一重殻	対象となる地下貯蔵タンク又は二重殻タンク	レギュラータンク
当該地下貯蔵タンク又は二重殻タンクの設置時の完成検査期日	〇〇年〇〇月〇〇日		
危険物の漏れを感知しその漏えい拡散を防止するための措置の有無	告示第 71 条第 4 項第 1 号イ又はロに掲げる措置 (有・無) 告示第 71 条第 4 項第 2 号に掲げる措置 (有・無) 平成 15 年総務省令第 143 号附則第 3 項に掲げる措置 (有・無)		
直近の漏れの点検を行った年月日	〇〇年〇〇月〇〇日		
期間延長後の漏れの点検予定期日	再開の前日 (日にちが決まっていれば日にちを指定)		
その他参考となる事項	対象の地下貯蔵タンクの詳細は別添図面参照		
※受付欄	備考		

- コメントの追加 [s1]: 消防へ提出する日を記入する。和歴にて記入。
- コメントの追加 [s2]: 申請者が法人である場合は、「氏名」に会社名 役職 名前を記入する。
- コメントの追加 [s3]: 申請者と同様。申請者と異なる場合やその後の手続き等を委任する場合は、委任状を提出する。
- コメントの追加 [s4]: 製造所、貯蔵所、取扱所のいずれか該当するものを記入する。
- コメントの追加 [s5]: 「製造所等の別」が製造所の場合は斜線を引く。貯蔵所の場合は、屋内貯蔵所、屋外タンク貯蔵所、屋内タンク貯蔵所、地下タンク貯蔵所、簡易タンク貯蔵所、移動タンク貯蔵所のいずれか該当のものを記入する。取扱所の場合は、給油取扱所、第一種販売取扱所、第二種販売取扱所、移送取扱所。
- コメントの追加 [s6]: 設置した時の年月日及び番号。番号については、「桐設許」など第〇〇号の前に付いているものがあれば記入する。
- コメントの追加 [s7]: 鋼製一重殻タンク、鋼製二重殻タンク (SS 二重殻タンク)、鋼製強化プラスチック製二重殻 (SF 二重殻タンク)、強化プラスチック製二重殻タンク (FF2 重殻タンク) のいずれかを記入する。
- コメントの追加 [s8]: この措置の有・無については注意事項参照してください。
- コメントの追加 [s9]: 対象となる地下貯蔵タンク又は二重殻タンクの図面を添付する。

備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格 A4 とすること。
 2 法人にあっては、その名称、代表者氏名及び主たる事業所の所在地を記入すること。
 3 告示は、危険物の規制に関する技術上の基準の細目を定める告示 (昭和 49 年自治省告示第 99 号) とすること。
 4 ※欄は、記入しないこと。